

令和4年度広島市立広島特別支援学校第4回学校運営協議会概要

1 日 時 令和5年2月28日（火） 10:00～11:00

2 場 所 広島市立広島特別支援学校 （多目的ホール1）

3 内 容

(1) 学校長挨拶

○登校時のスクールバス等の安全対策

○下校時のスクールバス、デイサービス送迎の安全対策

（委員の皆様から）

2, 3年前の登下校の様子と比べて改善されている。

学校の前の交差点の右側車線の整備、スクールバスが到着する際の混雑緩和になるのではないか。

(2) 令和4年度学校経営計画について

学校経営計画最終評価

短期経営重点目標の4つの観点についての評価結果

【主体的な学びを育むための「ねらい」に基づいた個別最適な授業づくりと適切な支援を行う。】

評価結果 ・学部研を通して授業づくりシートの作成を行うことができた、授業の見直しに生かすことができた。
・希望研修に教職員が積極的に参加した。
・学習環境（人的・物的）を整えることができた。

【令和6年度の構想の具体化を図る。企画広報部、教務部を中心として、令和6年度完全実施に向けた新教育課程を策定し、分掌の編成や行事の検討を行う。】

評価結果 ・教育課程の見直しができた。
・高等部における新しい教育課程の着手はできたが、策定までは至っていない。
・分掌の編成や行事を見直すことができた。

【いじめの未然防止、早期発見見逃しゼロに努め、いじめへの適切な対応を行う。】

評価結果 ・生徒指導主事を中心に、いじめ見逃しゼロに努めることができた。
・あいさつ運動など、生徒を主導にした安心感を与える学校生活づくりができた。

【教職員自身が健康で安全な職場にしようとする意識を高める。】

評価結果 ・教職員がお互いに高めあおうとする風土は醸成すること

はできなかった。

・超過勤務月40時間以内に収まる教職員の割合は下げることができなかった。

(3) 令和5年度学校経営計画（案）について

（委員の皆様から）

教育課程にはグラデュエーションポリシーを詰めていく必要がある。形成していく中で、よりスムーズに進めることができる。

作業所で働く力、仲間と一緒に仕事をするのが大切一人では生きていけない。集団として力をつけていく。より良い仲間づくりを盛り込んでいく。共同する力も盛り込んで進めていく。お互いが育ちあうということもある。子どもたちの中で、「こうしようよ」と提案していくことがある。

（校長から）

高等部について、スタンダードを作る。どのような力をつけていくか確認できるシステムづくりとして取り組んでいく。

集団生活も大切であるが、個別の対応も必要である。保護者と連携して、どういう力をつけていけばいいのか、明確に示していくことを考えている。

（委員の皆様から）

JSTは何名在籍しているのか。

（校長から）

JSTは2名在籍。1名はハローワークに勤めておられた。企業開拓をしていただいている。高等部では卒業後の働く意識につなげた指導をしていくことが大切である。

（委員の皆様から）

横方向の連携はどこの職場でも課題になっている。難しいところがある。組織風土の問題もある。横方向でつなぎあえば学校はより良い方向に進む。組織は急に変わらない。ゆっくりと取り組んでいけばよい。

(4) 令和5年度学校経営計画（案）の承認

(5) 学校長挨拶